



# 週間情報



No.3032

発行日 平成30年8月21日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人 全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防災思想の普及広報を積極的に推進するため、社会経済の発展に即応した幅広い知識技術及び消防業務全般にわたる資料を提供し、消防職員の資質の向上と会員相互の情報交換、さらには全国消防長会消防職員の融和協調に寄与させることを本旨に毎月、機関誌「ほのお」を発行しております。さらなる有意義な機関誌とするため、平成31年5月を目途に本誌を一部改編することとしました。

つきましては次のとおり、試行として新しいコーナーの記事を募集します。

#### 1 試行期間

2018年10号（10月25日発行）から2019年3号（3月25日発行）まで

※試行期間中、掲載内容等について事務局で検討し、必要に応じて2019年5号以降の記事を改めて募集します。

#### 2 募集記事

##### (1) 各記事執筆に係る共通事項

##### 執筆要領共通事項

- 原稿：wordで作成（文章全体で2000～4000文字程度）
- 使用頁数：2～4頁
- 「はじめに」として、冒頭に消防本部の構成市町村、管轄人口、管轄面積、管轄区域の主な地形、消防本部の体制、消防職員数、基本施策などの本部の規模が把握できる文章を500文字程度で、「おわりに」として、掲載記事に関すること、全国の消防本部に発信したいこと等を500文字以内で執筆願います。
- 画像：画素数の高いJPEG（記事に合わせ数点）※画像の説明（キャプション）は25文字程度
- 図面：word、Excel、AI等 ※PDF化していないもの
- 投稿方法：電子データにて、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。
- 投稿いただいても、すぐに掲載できない場合や未掲載となる場合もありますので、ご承知おき願います。掲載する場合は、担当から調整の連絡をさせていただきます。

##### (2) 新コーナー

| タイトル                   | 執筆要領   |
|------------------------|--|
| 知識・技術の伝承<br>—教えて！消防技術— | <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の災害で工夫した点、苦慮した点、経験談等、次の世代に伝えたこと、残したい事等を執筆願います。</li> <li>・救助技術訓練や消防戦術、救急活動、災害対応の警防面に限らず、予防業務や指令業務についても募集します。</li> </ul> |
| 女性職員の活躍・推進             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性消防職員の配属先、モチベーションを向上させるための施策、先進的な処遇、今後の方向性、女性職員ならではの奏功事例、当該女性へのインタビュー（女性消防職員の思い描いている事）等を執筆願います。</li> </ul>              |

消防ワイドについても随時、記事を募集しておりますので、引き続きご投稿お待ちしております。

※150文字以内の原稿及びJPEG画像データを[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

#### 【お問い合わせ先】

企画部企画課 渡木、原

電話 03-3234-1321

FAX 03-3234-1847

E-mail [kikakocho@fcaj.gr.jp](mailto:kikakocho@fcaj.gr.jp)

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 女性が活躍できる職業として～「女性消防士と一緒に仕事体験 in 北消防署」を実施 都城市消防局（宮崎）

都城市消防局では、平成30年8月1日（水）、女性限定の消防士体験、「女性消防士と一緒に仕事体験 in 北消防署」を開催しました。

県内から9名の女性が参加し、北消防署の女性専用スペース及び消防車両の見学を行いました。

また、実際に防火衣に身を包み、ホース延長・放水などの体験を行った他、身近にあるシーツを使った結着を学ぶなど、日常生活でも役立つ体験を行いました。

昼食では、消防士のスタミナ源である消防士手作りの特製ファイヤーランチを楽しく試食し、女性限定座談会では、消防士の仕事や本音話に盛り上がり、「女性が消防士として活躍できる。」と実感していただくことができました。

今後も、女性が活躍しやすい消防局を目指し、仕事体験などの実施に努めてまいります。



【仕事体験の様子】

#### ◆ 山岳救助隊発隊式を開催

#### 奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部は、平成30年8月3日（金）、「奈良県広域消防組合山岳救助隊」の発隊式を開催しました。

発隊式では、管理者及び消防長からの訓示の後、消防長から山岳救助隊員に対し隊員章（エンブレム）が授与され、山岳救助隊長が管内の安全を守っていく決意を述べました。

当消防本部管内には、世界遺産でもある大峰奥駈道をはじめ、魅力ある山々があることから登山者も多く、山の事故は増加傾向にあります。

山岳救助隊は、厳冬期や夜間を含む山岳救助事案発生時に出動する専門の部隊として、山岳地帯を管轄する消防署に25名の隊員を配置しています。

今後も関係機関との連携を図り、安全・確実・迅速な山岳救助活動を実践できるよう取り組んでいきます。



【発隊式の様子】



【記念写真】

## ◆ 「2018消防フェスティバル」を開催

### 江別市消防本部（北海道）

江別市消防本部では、平成30年8月4日（土）、イオン北海道株式会社イオン江別店の屋外駐車場において、体験型の消防イベント「2018消防フェスティバル」を開催しました。

開会式では、1日消防クラブ員による防火宣言が行われた他、救助隊員の懸垂降下、幼年消防クラブによるよさこい演舞及び園児対象の消防車綱引きを実施しました。

各コーナーでは、1日消防クラブ員により、来場者に向けた防火チラシ等の配布による火災予防広報が行われました。

各種体験コーナーでは、消防職員及び消防団員による消火・避難・通報訓練、レスキュー体験及びはしご車搭乗体験を行いました。子ども用の防火衣を着て消防車をバックに写真撮影をするなど、どのコーナーも参加者が長い列を作り、閉会式まで途切れることがないほどの盛況ぶりでした。

このイベントを通じて、参加された防火クラブ員及び市民の防火意識の高揚が図られ、特に幼少年にとっては、体験型のイベントにより、楽しみながら火災予防を学べる一日となりました。



【消防車綱引きの様子】



【子ども用防火衣を着て写真撮影】

## ◆ 就職説明会を開催

### 松阪地区広域消防組合消防本部（三重）

松阪地区広域消防組合消防本部では、平成30年8月5日（日）、松阪市内の消防本部で就職説明会を開催しました。

この就職説明会は、近年、消防の受験者が減少傾向であることから、人材を確保することを目的に、また、消防の仕事をもっと身近に感じていただくため、初めて企画されました。

台風の影響により、当初の開催予定日から1週間延期となりましたが、当日は、女性2名を含む計27名が参加しました。

警防隊・救急隊・特別救助隊の訓練見学及び車両見学を行った後、消防士との座談会を行い、参加者からは「座談会で職員の声を直接聞き、ホームページ上で得る情報よりも有益なものだった。」「訓練を近くで見ることができ、消防の仕事を実感できた。」などの声を聴くことができ、消防の魅力を伝える良い機会となりました。



【車両見学の様子】



【座談会の様子】

## ◆ 人命救助活動協力者に感謝状を贈呈

### 明石市消防局（兵庫）

明石市消防局では、平成30年8月7日（火）、人命救助活動協力者2名に対し、消防局長から感謝状を贈呈しました。

当事案は、平成30年7月16日（月）、松江海水浴場に同僚と訪れていた兵庫県警尼崎南署の警察官2名が、深みに足を取られて溺れている親子3名を発見し、協力して救助を実施したものです。

その後、救急隊により病院に搬送されましたが大事には至らず、2名の勇気ある行動により、親子3名の尊い命を救うことができました。

感謝状を贈呈されたことに対して2名は、「人命を救う仕事をしているので、とっさに体も動いた。」「当然のことをしたまでですが、表彰されて光栄です。」とコメントされました。



【感謝状贈呈後の記念写真】

## ◆ 1泊2日で体験型防災学習を実施！！

### 熊本市消防局（熊本）

熊本市消防局では、平成30年8月8日（水）及び9日（木）の2日間、当消防局管内の小学4年生から6年生の児童を対象に、1泊2日の『体験型防災学習』を実施しました。

当学習は、熊本地震を契機として、子ども達に災害の知識などを学んでもらうことで、自助・共助の重要性の普及啓発及び将来の地域防災を担う人材の育成を目的に行っております。

また、今回、初の試みとして、機能別消防団員（大学生）にスタッフとして参加してもらいました。

子ども達は気温37度の猛暑の中、地震、危険予測や回避、VR消火など、多くの体験学習で汗を流し、夕食は竹を使用して炊飯したご飯を全員で食べ、夜はナイトハイクを行いました。

143名の小学生を含む計180名の参加者全員で、「トライ！ やってみよう！」を合言葉に、暑さに負けず一致団結してたくさんのことを学び、かけがえのない思い出となりました。



【体験学習時の熱中症対策】



【金峰山をバックに記念写真】

## ◆ 消防協力者感謝状を贈呈

### 蒲郡市消防本部（愛知）

蒲郡市消防本部では、平成30年8月10日（金）、消防協力者3名に対して感謝状を贈呈しました。

当事案は、平成30年7月20日（金）、神社でお参り中の夫婦が、神社拝殿の縁側から黒煙が出ているのを発見し、すぐさま付近に応援を依頼し、駆けつけた住民が119番通報及び持参した消火器により火災を完全に消火したものです。

火災の発見、119番通報及び初期消火を3名が協力して行い、消防隊が現場到着する前に迅速かつ適切に消防活動を実施したため、被害を最小限に食い止め、歴史的建築物を守る事が出来ました。



【贈呈式の様子】



【贈呈式後の記念写真】

## ◆ 救命処置で消防総監感謝状を贈呈

### 東京消防庁（東京）

東京消防庁石神井消防署では、平成30年8月15日（水）、適切な応急手当により救命に貢献した西武池袋線大泉学園駅員4名に対して、消防総監感謝状を贈呈しました。

この事案は、平成30年7月26日（木）、大泉学園駅ホーム上で男性（31歳）が心肺停止状態で倒れたもので、傷病者を発見した助役駅員が無線での他の駅員に対して、119番通報及びAEDの搬送を指示しました。指示を受けて駆け付けた3名の駅員と助役駅員の計4名で協力しながら胸骨圧迫及びAEDによる除細動を行った結果、消防隊到着時には呼吸・脈拍の回復に至りました。

表彰式に出席した3名の方は、感謝状を受け取った後、「今回、このような感謝状を頂き、大変光栄に思います。」「傷病者の方が意識を取り戻して良かったです。」と語られました。



【贈呈式後の記念写真】

## 訓練・演習

### ◆ 新鍬台トンネルで救助訓練等を含めた防災訓練を実施

#### 大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

大船渡地区消防組合消防本部では、平成30年8月1日（水）、大船渡市と釜石市にまたがる三陸沿岸道路「吉浜釜石道路」新鍬台トンネルにおいて、隣接する釜石大槌地区行政事務組合消防本部（岩手）及び関係機関と合同で防災訓練を実施しました。

当訓練は、国土交通省南三陸国道事務所をはじめとした国・市・警察・消防等の7機関が参加し、トンネル内防災設備の使用及び関係機関の連携・支援によって災害を最小限にとどめ、二次災害の発生を防止することを目的に、交通規制訓練、危険物流出処理訓練及び救助・救出訓練を行いました。

その後行われた検討会でも、災害現場における対応について活発な意見交換がなされ、有事の際の各関係機関の連携強化を図ることができました。

今後も関係機関との連携訓練を実施し、住民ファーストの活動を展開できるよう、知識・技術の向上に励んでいきます。



【防災訓練の様子】

### ◆ 平成30年度警防技術訓練を実施

#### 市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、平成30年8月2日（木）及び3日（金）の2日間、市原市総合防災センターにおいて、全署の警防隊員を対象に警防技術訓練を実施しました。

当訓練は、建物火災時における屋内進入要領の統一及び迅速かつ安全な警防活動技術の向上を図ることを目的として、救助線及び援護線による屋内進入から、援護注水及び要救助者救出までの一連の活動を実施し部隊活動の評価を行いました。

今回の訓練を通して、当消防局内全体で各活動に対する共通認識を持つことができ、部隊間の連携強化を図ることができました。当訓練における各部隊の活動を検証することで、今後の消防活動の向上に繋げていきます。

今後も研鑽努力を惜しむことなく、市民の安心・安全のために精進します。



【訓練の様子】

## ◆ ガス事業者・警察と合同でガス漏洩事故対応訓練を実施

### 豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、平成30年8月3日（金）、中部ガス株式会社及び豊橋警察署と合同で、解体予定の市営住宅を利用したガス漏洩事故対応訓練を実施しました。

訓練は、「住宅内でガス臭がする。」との通報によりガス事業者の緊急車両が出動し、建物周辺の調査及び住宅内の検知活動を実施しました。検知活動の結果、都市ガスの漏洩が認められたため、住民の避難誘導、引込管ガス遮断装置の閉止等の初期保安措置を行いました。

その後、2階の住民が建物内に取り残されているとの情報により消防・警察が出動し、ガス事業者と合同指揮所を開設し、警察は建物周辺の警戒活動、消防は送排風器により滞留ガスを拡散してガス濃度を低下させ、救助隊により要救助者を救出しました。

今回の合同訓練では、各関係機関が相互に情報共有を図ることができたため、強力な連携体制をもって災害に臨む重要性を再確認することができました。



【訓練の様子】

## ◆ 第5回警防技術指導会を開催！

### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成30年8月9日（木）、消防訓練センター（東消防署）において、第5回警防技術指導会を開催しました。

この指導会は、「木造2階建ての住宅1階から出火し、2階に逃げ遅れが1名いる。」という想定で開催し、活動する2つの部隊間の連携及び『安全・確実・迅速』な消火・救助活動の向上を目的として、年に一度開催しています。また、訓練現場までの出動途上に狭隘箇所を設定し、機関員の運転技術の向上を図るとともに、誘導員の誘導要領の確認を行いました。

5消防署の各代表2隊によるペア活動で計10隊40名が参加し、日頃の訓練成果を競い合い、消火・救助技術の向上を図りました。

今後も継続してこの警防技術指導会を開催することで、より一層、現場活動能力の向上及び部隊間の連携強化を図ります。



【指導会の様子】

## 研修等

### ◆ ハラスメント研修を実施

#### 土浦市消防本部（茨城）

土浦市消防本部では、平成30年7月23日（月）から8月8日（水）までのうちの4日間で、消防本部内講堂において、全職員を対象としたハラスメント研修を実施しました。

7月の2日間は全管理職職員を対象とし、主に部下への指導方法及びハラスメントに関する考え方について講義を行いました。8月の2日間は一般職員を対象とし、指導方法及び職場における円滑なコミュニケーション方法について、グループに別れて討論を行いました。

今後も、職員に向けた研修を積極的に実施し、当消防本部の目標である「市民と家族に誇れる消防本部」を目指してまいります。



【研修の様子】

### ◆ 医師による救急隊員セミナーを開催

#### 鹿島地方事務組合消防本部（茨城）

鹿島地方事務組合消防本部では、平成30年8月2日（木）及び8月3日（金）の2日間、当消防本部メディカルアドバイザー鶴岡信医師による「テロ災害等による対応能力向上としての止血に関する講習」を開催しました。

当消防本部管内は、2019年に「いきいき茨城ゆめ国体2019」、2020年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催地となっており、テロ災害等により多数の傷病者が発生する事態も想定されることから、ターネットを含む止血帯による圧迫止血について、救急隊員のみならず、現場で活動する消防隊員等も救命処置が出来るように実施したものです。

今後も複雑多様な災害に対処できるよう職員のスキルアップを図り、円滑な活動に努めていきます。



【セミナーの様子】

◆ 平成30年度石狩北部地区消防事務組合警防研修会を開催

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、平成30年8月4日（土）、北海道で唯一の気象防災アドバイザーを講師として招き、「気象予報と災害」をテーマに、平成30年度石狩北部地区消防事務組合警防研修会を開催しました。

研修会は職員38名が出席し、平成29年度に石狩市浜益地区で発生した大雨災害及び石狩北部管内で発生した暴風雪災害の事例を基に、気象に関する基礎知識について様々な資料を交えて分かりやすくご教示していただきました。

当研修会の開催により、自然災害に対するリスク管理能力を高めること及び知識の向上を図ることができ、大変貴重な機会となりました。



【研修会の様子】

◆ 救急勉強会を開催

堺市消防局（大阪）

堺市消防局西消防署では、平成30年8月10日（金）、「聴覚障害について」をテーマに、当消防局救急隊員を対象とした救急勉強会を開催しました。

この勉強会は、聴覚障害者等からの救急要請により出場した際、救急隊員と聴覚障害者等との間で円滑なコミュニケーションを行うために実施したものです。

堺市立健康福祉プラザ及び西区役所から4名の方を講師に招き、聴覚障害者の基礎知識や支援方法などについて学びました。また、勉強会の最後には聴覚障害のある講師の方に協力していただき実践訓練を行い、参加者は終始熱心に取り組み、大変有意義な勉強会となりました。



【勉強会の様子】

## その他

### ◆ 消防庁緊急時メンタルサポートチームによるカウンセリングを実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、平成30年8月1日（水）及び2日（木）の2日間、平成30年7月豪雨に伴う業務で特に高いストレスを受けた職員62名を対象に、消防庁の緊急時メンタルサポートチームによるカウンセリングを実施しました。

消防庁の担当者の方は、1本部当たりのカウンセリング対象者数としては過去最大となったにもかかわらず、快く対応依頼を引き受けてくださりました。

カウンセリングを受けた職員からは、「自分を理解してもらうことで、モヤモヤした気持ちが消えた。人に話すことにより、心の整理ができた。」等の声上がり、惨事ストレスの軽減に一定の効果が見られました。

最後になりましたが、緊急消防援助隊及び県内応援隊として助けてくださった皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。



【カウンセリング後の説明会の様子】

### ◆ 露店等に対して防火指導を実施

入間東部地区事務組合消防本部（埼玉）

入間東部地区事務組合消防本部では、平成30年8月4日（土）及び5日（日）の2日間、ふじみ野市内で開催された「第64回かみふくおか七夕まつり」において、火気を使用する露店等に対し、消火器の設置指導及び対象火気器具・LPガスボンベの安全な取り扱いについての指導を行いました。

七夕まつりに出店する全ての露店等に対して、強風により屋台やテントが吹き飛ばされないよう強固な物に固定すること、また、強風時は天幕を取り外す等の対応を行うよう指導しました。

夏祭りのシーズンを迎えて催しが増える中、参加者が安心して催しを楽しめるよう、今後も防火指導により出店者の防火意識の高揚を図っていきます。



【防火指導の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 建築物防災週間（平成30年度秋季）の実施について

（消防予第518号、平成30年8月13日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記について、「建築物防災週間（平成30年度秋季）の実施について」（平成30年8月10日国住指第1631号）により、国土交通省住宅局長から別添（省略）のとおり協力依頼がありましたので、お知らせします。

各都道府県におかれましては、貴管内の市町村又は消防本部に対してこの旨周知されるようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

[http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3008/pdf/300813\\_yo518.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3008/pdf/300813_yo518.pdf) に掲載されています。

#### <連絡先>

消防庁予防課予防係

柏原・岡崎

Tel (03)5253-7523

Fax (03)5253-7533

mail k2.okazaki@soumu.go.jp

#### ◆ 消防防災ヘリコプターの安全確保の再徹底及び「消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会報告書（平成30年3月）」等提言の取組の早期実施について

（消防広第259号、平成30年8月13日）

消防庁国民保護・防災部広域応援室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・関係政令市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平成30年8月10日、群馬県において、消防防災ヘリコプターが調査飛行中に墜落し、9名の乗組員が死亡する事故が発生しました。事故原因については、国土交通省運輸安全委員会において調査中です。

貴職におかれましては、日頃から運航管理要綱等に基づき安全運航に努めていただいているところではありますが、今後の事故防止のため、下記事項（省略）に留意して消防防災ヘリコプターの安全確保について一層の徹底を図られるようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

[http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3008/pdf/300813\\_kou259.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3008/pdf/300813_kou259.pdf) に掲載されています。

#### 【問い合わせ先】

消防庁広域応援室航空係 井本・殿谷

電話 03-5253-7527

FAX 03-5253-7537

## 報道発表

### ◆ 「自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会」の開催

(平成30年8月16日、消防庁)

地域防災の担い手となる自主防災組織等の人材育成について検討することを目的として、「自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

#### 1 検討会開催の背景・目的

今後発生が懸念される大規模広域災害に対応するためには、行政による「公助」はもとより、住民一人一人が自発的に行う防災活動である「自助」や、地域の防災力向上のための自主防災組織をはじめとした、地域の各防災組織が連携して行う防災活動である「共助」なくしては、災害に対処することは困難です。

しかしながら、地域防災の担い手となる自主防災組織等では、活動の中心となるリーダー等の担い手の不足、防災活動への参加者の不足などの課題を抱えています。

このような課題を克服し自主防災組織等の活動の活性化を図る必要から、自主防災組織等のリーダー等の育成に資する教育訓練のカリキュラム及び教材の作成その他自主防災組織等の地域防災の人材育成について検討を行うことを目的として、「自主防災組織等の地域防災の人材育成に関する検討会」を開催します。

—以下省略—

#### ○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/08/300816\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h30/08/300816_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

#### 【お問合せ】

消防庁国民保護・防災部地域防災室  
加藤理事官、森岡係長、佐々木事務官  
TEL : 03-5253-7561 FAX : 03-5253-7576  
E-mail : chiikibousai@ml.soumu.go.jp

**情報提供****◆ 平成30年度消防技術安全所検証・研究成果発表会の開催について****東京消防庁（東京）**

東京消防庁消防技術安全所では、検証・研究成果を発表し、消防行政の効果的推進を図るとともに、消防防災科学の発展に寄与することを目的として、検証・研究成果発表会を下記のとおり開催いたしますのでご案内いたします。

記

**1 日時**

|     |                 |                 |
|-----|-----------------|-----------------|
|     | 口頭発表等           | ポスターセッション等      |
| 年月日 | 平成30年9月14日（金）   |                 |
| 時間  | 9時00分から12時00分まで | 8時30分から12時30分まで |

**2 場所**

東京消防庁消防学校5階講堂・ホワイエ（東京都渋谷区西原二丁目51番1号）

**3 参加申込**

参加を希望される場合は、東京消防庁消防技術安全所ホームページ

([http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gi\\_jyutuka/event01.html](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gi_jyutuka/event01.html)) に掲載の「平成30年度消防技術安全所検証・研究成果発表会参加申込書」により、平成30年9月7日（金）までに、下記問合せ先へ電子メール又はFAXでお申し込み下さい。

**4 プログラム**

(1) 口頭発表等 9:00～12:00（於：消防学校5階講堂）

ア 消防技術安全所長挨拶 9:00～

イ 成果発表 9:05～10:20

(ア) 長周期地震動等に伴う室内安全に関する検証（その4）

（電気器具に関する地震火災予防対策の検討） 9:05～

(イ) 消火用ホースの摩耗損傷に関する検証（第2報） 9:20～

(ロ) 実大規模によるふとん火災の燃焼性状に関する検証 9:35～

(エ) 大型ヘリコプターがホバリング時に発生させるダウンウォッシュの風速測定に関する検証 9:50～

(オ) 効果的な身体冷却に関する検証 10:05～

ウ ゲスト発表 10:20～10:35

埼玉県三芳町倉庫火災における消防用設備の調査について

入間東部地区事務組合消防本部 三井 隆史 氏

エ 休憩 10:35～10:50

オ 特別講演 10:50～12:00

演題：『東京都における危機管理の取組』

講師：東京都 危機管理監 田邊 揮司良 氏

〔概要〕

首都直下地震などの切迫する様々な危機に対し、セーフティの実現に向けた東京都の取組について、自衛隊での経験及び最新のIoTやAIの防災活用をまじえたご講演をいただきます。

(2) ポスターセッション等 8:30～12:30（於：消防学校5階ホワイエ）

ア ポスターセッション

(ア) 各種ノズルを用いた排煙効果の検証

(イ) 延焼する室内に対する効果的な放水方法の検証

（フラッシュオーバーを抑制する放水方法）

(ロ) 消火器を用いた初期消火時の周辺環境の変化に関する検証

(エ) 自然発火したタオル等に含まれる油脂の特定に関する検証

(オ) 夏季の屋外環境における正服等着用時の身体的負担と熱中症予防に関する検証

(カ) 惨事ストレスケアにおけるデブリーフィング及びデフュージングに関する検証

イ 平成29年度消防機器等考案優秀作品展示

(ア) 伸縮式収納バッグ

- (イ) メーンストレッチャー・傷病者固定ベルト用バックル収納ポケット
- (ウ) 油圧ホースガイドローラー
- (エ) フィンガースポットアームカバー
- (オ) クイックターポリン（簡易式雨覆い）

## 5 その他

- (1) 受付は、8時30分より東京消防庁消防学校1階で行います。
- (2) 会場の都合上、駐車場がございませんので、あらかじめご了承ください。

問合せ先  
 東京消防庁 消防技術安全所  
 消防技術課 消防技術係 中山 大平  
 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目13番20号  
 電話: 03-3466-1515 (内線 6342・6347)  
 FAX : 03-3468-8732  
 Eメール: gijyutuka3@tfd.metro.tokyo.jp

## ◆ 第7回全国消防職団員綱引大会

### 全国消防綱引連盟

消防に働く職団員が一同に会し、綱引をとおして参加職団員相互の親睦を深め、もって業務の円滑な推進に寄与することを目的として、次のとおり全国消防綱引連盟主催により、消防職団員の綱引大会を開催致します。既に、開催案内を発送させていただいた本部もありますが、幅広くチームの参加を求めていますので、奮っての御参加をお待ちしております。お問い合わせにつきましては、下記連絡先に、お気軽に御連絡をいただければと思いますので、よろしくお願ひします。

日 時 平成30年10月19日（金）13時00分から17時00分まで

（申込期日：平成30年9月19日（水））

場 所 川崎市川崎区富士見1-1-4

カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）

また、同日18時30分から『川崎日航ホテル』（川崎市川崎区日進町1番地）にて、意見交換会を開催する予定となっておりますので、より深い親睦を深めるためにも、こちらへの参加もお待ちしております。



#### 【問い合わせ先】

開催地消防本部 川崎市消防局  
担当

岡部幸雄：090-3590-4513

金子正和：070-5458-2027

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)

**※ 次回の週間情報配信予定日は平成30年9月4日（火）となります。**